

「あつぼん」との出会い

ドキュメンタリーDVD 上映会&講演会について、5回にわたりレポートした。珍しく好評で「いいね」も多かった。集いは勉強になっただけでなく、嬉しいこともいくつかあった。その一つが、「あつぼん」との出会いである。

「あつぼん」とは、この集いに広島から駆けつけた小学3年生。名前は正木篤くん。お母さんに聞くと、友だちからは「あつくん」と呼ばれている。でも、フェイスブック仲間からは「あつぼん」と。いわばフェイスブックの「芸名」みたいとのこと。私もこのなんとも言えない「芸名」を使わせてもらおう。



レポート1回目で紹介したが、あつぼんはオープニング・セレモニーで司会からマイクを向けられた。その後も正面の壇上前で、でんと耳を傾けていたように見えた。その姿がなんだか印象に残った。

集いが終わり、片づけもひと段落したので、地下鉄「桜山駅」に向かった。たいした手伝いもできなかったが、朝早くから長時間なので少し疲れていた。改札でふと前を見ると、あつぼん親子の姿が。ほんのひと言だけ声をかけたことで、こうしてレポートを書くことに。あつぼんでなかったら、黙って通り過ぎていたかもしれない。こうした出会いは、林京香さんをはじめ、ここ数年にわたり続いている。

地下鉄の中で、会場でも注目していた素敵な帽子を話題にした。すると、お母さんが本当は赤いユニホームと帽子で来るはずだった。大の広島カープファン。これから行く名古屋は「ドラ」の本拠地なのでやめにしなさいと、あつぼんをなだめたという。この時は名前も聞かず、「今池駅」で別れたが、あつぼん親子に興味を湧いてきた。そして2日後には「フェイスブック仲間」になった。

お母さんのフェイスブックを検索すると、写真付きの興味深い投稿がずらりと並ぶ。その投稿を私のレポートで紹介したくなった。それで写真の利用をお願いし、快諾してもらい、あつぼん「物語」のはじまりとなる。

写真は地下鉄の中のあつぼん。広島は路面電車なので地下鉄に興味がありそうだ。赤いユニホームと帽子のあつぼん。広島ならではの赤いあつぼん。これもお似合いだが、さて名古屋では。



あつくなるが、あつぼん「物語」を断続的にぼんぼん続けていきたい。

(2017年7月3日)